

“トドマツの技術集団” 上川地域水平連携協議会の活動

一般社団法人北海道林産技術普及協会 専務理事 植 杉 雅 幸

URL <http://rinsan-fukyu.jp>

■水平連携でトドマツを広める

トドマツをもっと身近な存在であることをアピールしようと、トドマツの技術集団である「上川地域水平連携協議会」が平成21年から活動しています。上川地域の木材関連企業が構成員となり、地域産材であるトドマツ材を活用した商品開発を行っている団体です。

製材、プレカット、住宅建設、家具製造企業が水平、垂直連携を図りながら、上川地域のトドマツを地域で活用することで、地域経済の活性化、森林の健全育成を目的として活動を行っています。

上川地域をはじめ、道北地域では北海道の在来樹種であるトドマツ人工林が数多く存在します。その蓄積量は北海道全体の14.3%を占める所謂トドマツ地帯です。トドマツは現状での資源を見ると、10年後に伐期を迎える齢級がかなり存在します。その現実に対応するために、今からトドマツの良さを周知する必要があります。

このようなことを踏まえながら、上川地域水平連携協議会は平成21年に組織化し、一般社団法人北海道林産技術普及協会が事務局を務めています。「夢来（むく）」ブランドを冠した構造材の柱や梁を先駆けて提案、販売し、この時には住宅見学会やパンフレットの作成などを行っています。ここで改めて協議会の概要と今までの事業の取り組み経過を紹介します。



協議会の概要

名称	上川地域水平連携協議会
目的	安定的・効率的で地域性に根ざした素材生産、流通と地元建設、家具製造業者等への地域産材の供給体制の構築について、企業グループの連携と基礎情報の整理を目的とする。
構成員	素材生産業者、製材業者、流通業者、プレカット工場、住宅関連業者。
構成員企業名	麻生木材(株)、下川町森林組合、(株)齊藤工業所、三津橋農産(株)、(株)山田木工場、(株)カワムラ、(株)芦野組、(株)いさみや
オブザーバ	上川総合振興局林務課、北海道立総合研究機構林産試験場、北海道立総合研究機構北方住宅総合研究所
事務局	一般社団法人北海道林産技術普及協会

今までの年度ごと事業の取り組み

平成21	「地域材の水平連携加工システム（水平連携体制構築策定支援）」
平成22	「住宅分野への地域材供給シェア拡大総合対策（地域における木のまち・木のいえ環境整備）」 地域産材によるトドマツ構造材の開発を行った。
平成23	「地域材供給倍増事業（地域木材産業等連携支援事業・水平連携促進型）」 地域産材によるトドマツ大径材のフローリング開発を行った。
平成24	「地域材供給倍増事業（地域木材産業等連携支援事業・文化用品等市場開拓型）」 地域産材によるトドマツ大径材の家具・建具等の商品開発を行った。
平成25	「地域材供給倍増事業（地域型住宅づくり支援事業）」 道北産トドマツ製品を用いて、快適性や安全性を考慮した寒冷地仕様の地域型住宅を提案した。

この事業の取り組みの中から、幾つかを紹介したいと思います。

ア トドマツ「夢来」フローリング

平成23年に開発した製品のトドマツ材フローリング

は、水平連携協議会のブランド名として「夢来」と名付けています。フローリングは“「夢来」フローリング”，構造材は“「夢来」構造材”として販売しています。その「夢来」フローリングは、お陰様で緩やかな伸びながら毎年使われています。トドマツ材はもちろんのこと、針葉樹材を用いたフローリングは今まででは皆無に等しく、全く使われていない中で敢えてトドマツのフローリングに挑戦していますが、むしろ今までにない素材感から興味を抱いてもらっていると思います。

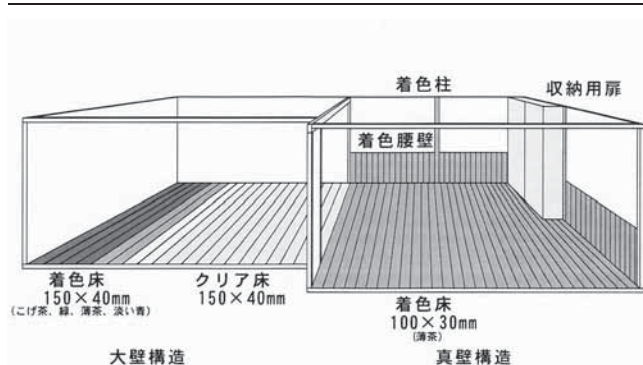
柔らかく傷つきやすいという特徴はありますが、これを最初から理解していただくようにしており、経年変化からはむしろ良い感じの色合いになり、生活の勲章として誇れると思います。

イ 「住宅リフォームフェア2014in札幌」に出展

平成26年3月下旬に「住宅リフォームフェア2014in札幌」がアクセスサッポロで開催され、水平連携協議会がトドマツ建材を出展しました。当日、700人程度の方が当ブースを訪れて見学してくれましたが、一様に全てトドマツで出来ている製品に賞賛をいただきました。

その内容を幾つか紹介したいと思いますが、展示物は次のようなものを試作し、組み合わせたものを展示しました。

展示物の大きさ	6m (間口) × 3m (奥行き), 高さ 2.5m
柱・壁	真壁 (柱着色, 壁白色) 大壁 (壁白色) 腰壁 (有り, 無し)
床	トドマツ 100×30mm 着色 トドマツ 150×40mm 透明 トドマツ 150×40mm 着色
家具	テーブル, 椅子, カウンター, 収納扉



(展示物のパース)



(リフォームフェアでの展示ブース)



(展示ブース内の家具, 床, 扉, 腰壁など)

また、当日は来場者にアンケートに答えていただきました。その質問内容は次のとおりです。

ア 床についてお答え下さい。

①巾について ②色について ③トドマツ床の印象
イ 腰壁について

①好き・嫌い ②使ってみたい・使ってみたくない
ウ 柱について

①色あり 好き・嫌い ②色あり 使ってみたい・使ってみたくない

③色なし 好き・嫌い ④色なし 使ってみたい・使ってみたくない

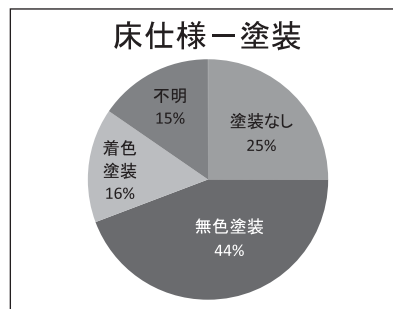
エ ここ数年の間に、家を建てたりリフォームする予定がありますか。

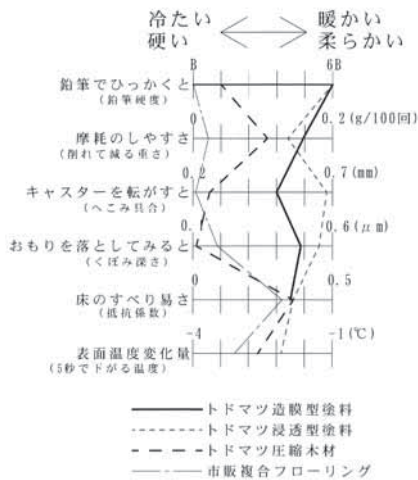
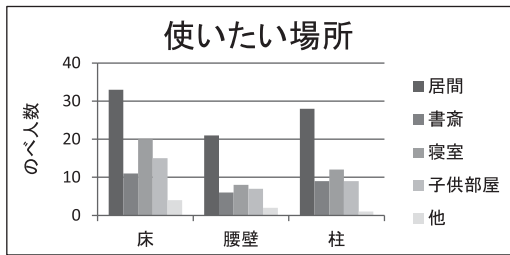
オ トドマツ材の使いたい場所を○で囲んでください。

①床 居間, 書斎, 寝室, 子供部屋, その他

②腰壁 居間, 書斎, 寝室, 子供部屋, その他

③柱 居間, 書斎, 寝室, 子供部屋, その他





そのアンケート結果の概要は次のようになりました。

①床材は100mmと150mmのものを見ながら評価してもらったところ、150mm幅の方が好ましい結果でありました。また、アンケート項目には無いが、今日展示した30mmと40mmの厚さは、通常流通している15mmの厚さよりも高い評価でありました。そのため、幅広で厚い床材の可能性は十分あると思われます。

さらに、床材への着色については、トドマツ本来の材色のものが好まれるようでありました。

②住宅内で使いたい場所としては、床、腰壁、柱とも居間での使用が望まれていました。

特に床材については、居間のほか寝室や子供部屋で多くの人が使いたいと回答しています。これは柔らかくて暖かいというトドマツの特色を有効に活用できる部位として、多くの人が受け入れることができることを示していると思われます。

各部材については、好き、使いたいなどに関する主観評価を行った結果、トドマツは床への使用が最も適当であると思われました。床、腰壁には好意的な評価が高い反面、柱材については少し落ちる結果となりました。塗装を施した柱材については、さらに低い評価となりました。

これらの結果から、トドマツ材の用途として最も期待できるのは床材で、次いで腰壁でした。また、それらの生地の色をそのまま生かした使用が好まれることが分かりました。

今後、厚くて幅広の床材の周知を図ることによって、トドマツ材の更なる需要拡大を図ることが可能であると思われます。

このように、平成25年度事業の「地域型住宅モデルの提案」では、トドマツ材の試験や試作品を製作、展示しながらさまざまな方向性を見いだすことができました。その取り組み結果からは、次のようなことが分かりました。

トドマツは柔らかく暖かみのある材料ですが、今まで一般的な壁やフローリングには不向きという評価がありました。しかし、その性質を活用した用途への使用、すなわち適材適所の使用を考えると、あながちトドマツ材を床や壁に使用できないという結論には至りません。リフォームフェアでの来場者へのアンケート結果や設計担当者等への聞き取りからは、床や家具への可能性を見出しました。

床では、特に子供連れの家族には好評であり、かつ今までにない厚さの床材に興味を持たれていました。実際に自宅で使いたいが、どこに連絡をすれば良いかといった問い合わせが数件ありまして、評価の高さが伺えました。

家具ではトドマツ素材の色に興味を持たれ、喫茶店等の店舗で使用することを前提とした問い合わせや店舗設計に関する相談があり、今後のトドマツ家具の可能性が高いことを伺うことができました。

出展した展示品の一部は、林産試験場木と暮らしの情報館に展示して、来館者にトドマツ製品のPRとして活用しています。ぜひご来館されましてトドマツ製品の良さを実感していただきたいと思っています。

よろしくお願い申し上げます。



(木と暮らしの情報館に展示したカウンター)



(木と暮らしの情報館に展示した家具等のようす)